

祇園祭の風習を受け継ぐ、夏の特別開館

「六角堂・池坊 屏風祭」開催

池坊に伝わる屏風を、祇園祭の定番花「ひおうぎ檜扇」のいけばなとともに展示

2018年7月21日(土)～23日(月) 9～17時

「いけばな資料館」(池坊会館3階)にて

華道家元池坊(本部:京都市中京区)は、祇園祭の風習を受け継ぐ夏の特別開館として、7月21日(土)～23日(月)の3日間、池坊に伝わる屏風をお披露目する「六角堂・池坊 屏風祭」を、いけばな資料館(池坊会館3階)にて開催いたします。また、屏風とともに、古くから魔除けや厄除けの花として用いられてきた祇園祭に欠かせない「ひおうぎ檜扇」のいけばなも展示します。入場は無料でどなたでも観覧いただけます。

祇園祭では、江戸時代より、京都の町人が、自身が所有する屏風などの家宝を飾り、祭り見物に訪れた人々に披露する「屏風祭り」が行われており、今も受け継がれています。今回の特別開館は、「屏風祭り」をもとに、池坊に伝わる屏風を皆様にご覧いただきたく、祇園祭にあわせて開催します。多くの種類の花を乗せた豪華絢爛な花車を描いた「花車唐子遊戯図屏風」や、京都ならではの舞妓を描いた「舞妓遊戯図屏風」など、池坊が所蔵する屏風5点を公開します。

概要は下記のとおりです。



「いけばな資料館」の様子



花車図屏風



舞妓図屏風

【「六角堂・池坊 屏風祭」概要】

日時: 2018年7月21日(土)～23日(月) 9時～17時

料金: 無料(予約不要)

場所: 京都市中京区六角通東洞院西入堂之前町235 池坊会館内3階「いけばな資料館」

内容: 祇園祭で祭り見物に訪れた人々に披露する「屏風祭り」に合わせて、池坊に伝わる貴重な屏風5点を特別公開すると共に、祇園祭に欠かせない花「ひおうぎ檜扇」を使いたいけばなを展示します。

一般お問い合わせ: 華道家元池坊 中央研究所 電話: 075-221-2879

※画像は、以下サイトにて、ダウンロード用JPGデータをダウンロードいただけます。

TMオフィスサイト <http://www.tm-office.co.jp> (「TMオフィス」で検索)

「報道資料・画像」ページを、以下ID、PWで開いてください。

ID: press PW: press

画像ダウンロードサイト
アクセス用QRコード



《 本件に関するお問い合わせは、下記までお願いします 》

華道家元池坊 中央研究所 細川・大西 TEL: 075-221-2879 FAX: 075-252-1325

株式会社TMオフィス 馬場・石原 TEL: 06-6231-4426 FAX: 06-6231-4440

E-mail: ikenobo@tm-office.co.jp